



## 現場発・スマート農業を共有する交流型オンラインイベント 「コネクティブ・ライブ」について紹介します

令和7年10月にスタートしたオンラインイベント「コネクティブ・ライブ」とは、東京型スマート農業研究開発プラットフォームの会員が、日々の取組や現場で得られた知見を共有する交流の場です。発表はプラットフォーム会員に限られますが、視聴はどなたでもお申し込みいただけます。会員による事業や製品の紹介をはじめ、スマート農業の最新技術、現場での工夫、新たな流通の取組など、多彩なテーマが取り上げられています。生産者、普及指導員、行政、JA、研究機関、企業など、立場の異なる関係者が一堂に会し、それぞれの視点から多様な切り口のテーマとともに考え、学び合う時間となっています。

これまでのコネクティブ・ライブでは会員企業が講演し（図1）、毎回多くの方から「現場のリアルな話が聞けて参考になった」「異なる立場からの意見が新鮮だった」といった声が寄せられています。実際の活用事例を通じて、栽培から流通までを見据えたデジタル化のヒントや「農業技術を自分たちでつくり、使いこなす」という“農業技術のDIY”の考え方にも共感が広がりました。地域資源を生かした需給マッチングなど、新しい視点に触れられるのもコネクティブ・ライブの魅力です。専門的な内容でありながら現場目線で語られるため、初めての方でも気軽に参加できます。今後も随時開催を予定していますので、ぜひホームページをご覧ください。

（スマート農業推進室）

	演題	会員企業名
1	需給マッチングシステム『ジモノミック！』と新たな流通モデルに向けた取り組み紹介	TOPPAN 株式会社 永野武史 氏
2	生産現場から青果流通まで -みどりクラウドが実現するスマート農業-	株式会社セラク 植田雅行 氏
3	農業現場×DIYで戦略的なDXを	fireflake 小林一晴 氏
4	植物の健康を照らし、未来を育てる -革新的な光センシング技術で農業の未来を変える-	分光計器株式会社 池戸隆文氏・竹下勇輝氏



東京型スマート農業  
プロジェクト HP

図1 令和7年度に開催したコネクティブ・ライブ

## 新しい街路樹用中高木の剪定マニュアルを公開しています

都内の街路樹は、信号や道路標識などの視認性確保、電線への接触回避のため、ケヤキ、イチヨウなど大木化しやすい樹種が過度に剪定されている事例が見受けられます。そこで、新しい街路樹として期待される樹種（図1）について、街路樹本来の機能を発揮させるための生育特性や、景観維持に必要な樹形を保つための剪定方法を明らかにしました。試験に用いた10樹種のうち、例えば、サクラ‘天の川’などの5樹種は、強く剪定をしなくても細身で整った樹形を維持しやすいことが確認できました。

この試験結果をもとに「新しい街路樹用中高木剪定マニュアル」を作成し、財団HP上で公開しています。東京都建設局や区市町村の道路管理者などに活用され、道路の状況にあった樹種の選定および剪定管理が行われることが期待されます。（緑化森林科・植木研究チーム）



マニュアルのダウンロードはこちらから

図1 新しい街路樹として期待される樹種の一例  
マグノリア‘ワダスメモリー’（左） サクラ‘天の川’（右）

## 堆肥施用の効果～有機物の長期連用試験結果より～

持続的に農業を営むためには、堆肥等の有機物の継続的な施用が重要です。土壌肥料研究チームでは有機物が土壌環境や作物の収量などに与える影響を解明するため、1976年から毎年、「化学肥料のみ」と、化学肥料と牛ふん混合剪定枝堆肥を施用した「化学肥料+堆肥」の2つの試験区でキャベツの栽培試験を行っています（図1）。

その結果、現在では堆肥ありの試験区では有機物が化学肥料のみより1.3倍程度に増加し、有機物由来の窒素が高い水準で維持され、根が健全に成長できる通気性が向上していました。また、収量は年次変動が大きいものの、堆肥を施用することで収量が増加しており、近年ではその差が大きくなってきています（図2）。このように、有機物の長期施用は土壌中の養分だけでなく土壌環境を改善し良好な状態を保持する効果があります。（生産環境科・土壌肥料研究チーム）



図1 キャベツ定植から35日後の試験圃場の様子  
化学肥料のみ（左） 化学肥料+堆肥（右）

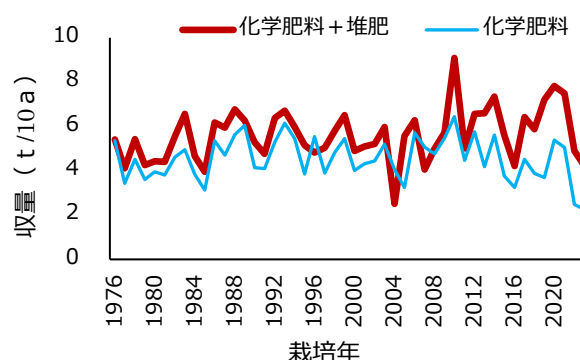


図2 春作キャベツの収量の推移

## 環境負荷の低い農薬の混用によるキュウリうどんこ病の防除効果

環境への影響を抑えつつ農作物の病害を防ぐため、環境負荷の低い農薬を適切に組み合わせる防除する手法が知られています。そこで、キュウリうどんこ病に対して、有効成分が食品添加物（炭酸水素カリウム）の農薬と植物油（脂肪酸グリセリド）の農薬を混用して散布し、その防除効果を検証しました。その結果、うどんこ病がある程度広がった段階で散布した場合、混用区は各農薬の単独散布よりも高い効果を示し、化学農薬区とほぼ同等の発病度でしたが、十分な防除効果は得られませんでした（2024年）。そこで、2025年の試験では発病初期に散布したところ、病気の広がりを抑えることができました。この結果により、環境負荷の低い農薬を混用し、発病初期に散布することで、化学農薬の使用回数を抑える選択肢となる可能性が示されました。

表1 散布前後の発病度および防除価（2年間の結果）（生産環境科・病害虫管理研究チーム）

試験区	希釈倍率	調査葉数	2024年7月			2025年7月		
			散布前 発病度 <sup>a</sup>	散布15日後 発病度	防除価 <sup>b</sup>	散布前 発病度	散布14日後 発病度	防除価
炭酸水素カリウム剤区	1000倍	45	35.0	30.0	43.8	1.9	30.7	47.8
脂肪酸グリセリド剤区	300倍	45	35.6	27.2	49.0	1.5	20.7	64.8
混用区（炭酸水素カリウム剤 +脂肪酸グリセリド剤）	上記倍率での 混合	45	38.0	23.3	56.3	1.5	14.8	74.8
トリフミゾール水和剤区 <sup>c</sup>	4000倍	45	39.1	25.6	52.1	1.9	8.1	86.2
無処理区		45	39.8	53.3		1.3	58.9	

a)病気の被害程度を示す値。数字が大きいほど病気の発生が激しい。 b)病気をどれだけ抑えられたかを示す値。数字が高いほど防除効果が高い。 c)化学農薬

## 種苗改善審査会「カリブラコアの部」を開催しました

カリブラコアはペチュニアに似た小輪花で、1990年にペチュニア属から分かれた比較的新しい品目です。花色が豊富で、生育や耐暑性に優れることから夏の花壇苗や鉢物として人気の品目です（図1）。本種のより一層の種苗改善を目的として、令和7年4月28日、農総研において第67回東京都種苗改善審査会「カリブラコアの部」が開催されました。全18品種が出品され、審査の結果、I等に「チャチャ フクシア」（ミヨシ）、II等に「サンバ イエロー」（ミヨシ）、「ウノ Bakari」（タキイ種苗）が選ばれました（図2）。入賞した品種は、生育や分枝性に優れ、花数が多く、花の発色が良いことに加え、苗の揃いの良さが特に評価されました。

（園芸技術科・花き研究チーム）



図1 カリブラコアの多様な品種を栽培する様子



図2 I等 チャチャ フクシア（ミヨシ）

## 春の果樹栽培管理について ～ブドウ編～

多くの果樹は春になると根の活動が再開し、芽が膨らみ（萌芽）（図1）、新梢の伸長が始まります。ブドウでは春季の管理として、新梢での展葉が2～3枚に達した時期（図2）を目安に「芽かき」を行い、不要な芽を除去します。芽数を適正に制限することで過繁茂が防止でき、樹冠内の光環境が改善されることなどから、果実品質の向上が期待されます（図3）。

芽かき作業では、生育の劣る芽や、花穂を有しない芽を優先的に取り除きます。その結果、樹全体の生育が向上するとともに、その後の誘引や整枝などの管理作業が行いやすくなります。

なお、残す芽の数や配置間隔は、樹勢や品種特性、仕立て方などによって異なります。

農総研では、ブドウの仕立て方や品種に応じた栽培技術の開発に取り組んでいます。

（園芸技術科・果樹研究チーム）



図1 ブドウの萌芽



図2 ブドウの新梢



図3 適正な芽かき・整枝

## 試験研究成果を公開しています

農総研では、試験研究成果および各種技術マニュアルをホームページで公開しています。

「令和7年度研究成果情報」および「研究報告第21号」を新しく掲載し、過去の研究成果も「試験成果情報データベース」から検索・閲覧できますので、是非ご活用ください。

また、農総研で開発した技術は、生産者の皆様が活用されやすいよう、動画や写真等を交えて取りまとめた技術マニュアルも公開していますので、是非ご活用ください。

研究成果や技術マニュアルに関するご質問・ご意見は、ホームページからも受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

（研究企画室）



試験成果情報  
データベースは  
こちら



技術マニュアル  
はこちら



農総研ホームページトップ画面



育てます豊かな食とみどりの東京

公益財団法人 東京都農林水産振興財団 農林総合研究センター

〒190-0013 東京都立川市富士見町3-8-1

HP: <https://www.tokyo-aff.or.jp/site/center/>

TEL: 042-528-5216

X: @tokyo\_tdfaff

こちらのQRコード  
からご覧ください

